

『乙種4類 危険物取扱者試験 平成25年（初版及び二版）』

お詫びと訂正、及び訂正した三版ご送付のご案内

『乙種4類 危険物取扱者試験 平成25年（初版及び二版）』をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。

本書の内容について、次の表のとおり誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

ページ	誤	正
63	<p>■点検の実施者 ◎定期点検は、危険物取扱者または危険物施設保安員が行わなければならない。ただし、危険物取扱者（甲種及び乙種）の立会を受けた場合は、危険物取扱者以外の者が点検を行うことができる。</p>	<p>■点検の実施者 ◎定期点検は、危険物取扱者または危険物施設保安員が行わなければならない。ただし、危険物取扱者の立会を受けた場合は、危険物取扱者以外の者が点検を行うことができる。</p>
64	<p>【問2】 〔解説〕 1. 丙種危険物取扱者は特定の危険物（ガソリン、灯油、軽油、重油など）に限り、取扱いと定期点検ができる。ただし、立会はできない。</p>	<p>【問2】 〔解説〕 1. 丙種も含め、危険物取扱者はこの点検を行うことができる。</p>
65	<p>【問4】 〔解説〕 3. 丙種危険物取扱者は特定の危険物（ガソリン、灯油、軽油、重油など）に限り、取扱いと定期点検ができる。ただし、立会はできない。 4. 定期点検ができるのは、危険物取扱者、危険物施設保安員、甲種・乙種危険物取扱者の立会のある者。所有者等であってもその権限はない。</p>	<p>【問4】 〔解説〕 3. 丙種も含め、危険物取扱者は定期点検を行うことができる。 4. 定期点検ができるのは、危険物取扱者、危険物施設保安員、及び危険物取扱者の立会のある者。所有者等であっても危険物取扱者の立会が必要となる。</p>
65 ～ 66	<p>【問5】 〔解説〕 4. 定期点検ができるのは、危険物取扱者及び危険物施設保安員、それに甲種・乙種危険物取扱者の立会のある者。</p>	<p>【問5】 〔解説〕 4. 定期点検ができるのは、危険物取扱者及び危険物施設保安員、それに危険物取扱者の立会のある者。</p>
66	<p>【問6】 〔解説〕 3. 定期点検の立ち会いができるのは、甲種及び乙種危険物取扱者のみ。丙種危険物取扱者は立ち会いができない。</p>	<p>【問6】 〔解説〕 3. 定期点検の立ち会いができるのは、丙種も含め危険物取扱者である。 5. 給油取扱所のうち、地下タンクを有するものについて、定期点検を実施しなければならない。</p>
66	<p>【問7】 〔解説〕 1. 定期点検が実施できるのは、危険物取扱者・危険物施設保安員・甲種または乙種危険物取扱者の立会いがある者。</p>	<p>【問7】 〔解説〕 1. 定期点検が実施できるのは、危険物取扱者・危険物施設保安員・危険物取扱者の立会いがある者。</p>

ページ	誤	正
67	<p>【問9】 〔解説〕 2. 危険物施設保安員が甲種または乙種の危険物取扱者であれば立会いが認められるが、無資格の場合は立会いが認められない。</p>	<p>【問9】 〔解説〕 2. 危険物施設保安員が危険物取扱者であれば立会いが認められるが、無資格の場合は立会いが認められない。</p>
134	P66 【6】 3 【7】 5	P66 【6】 5 【7】 4
213	<p>▶発火石 【問4】 〔解説〕 この火花は、金属の研磨粉が研削熱によって加熱され、さらに燃焼により発光しているものである。ライターが発火石は、セリウムと鉄の合金である。</p>	<p>▶鋼の火花 【問4】 〔解説〕 グラインダーで鉄鋼を研磨したときに生じる火花は、研磨粉が摩擦熱により加熱され、更に空气中を飛んでいく途中で酸化熱により高温となったものである。鉄鋼中の炭素は高温になると、空气中の酸素と反応してより高温となる。この時に生じる二酸化炭素または一酸化炭素により、高温の粒子は破裂することがある</p>
228	P213 【2】 3 【3】 4 【4】 3	P213 【2】 3 【3】 4 【4】 2
230	<p>表の第2類 可燃性固体（可燃性） 主な性質と危険性 ③引火性固体（固形アルコールなど）の燃焼は主に分解燃焼である。</p>	<p>③引火性固体（固形アルコールなど）の燃焼は主に蒸発燃焼である。</p>
235	<p>【問11】 〔解説〕 2. 第2類危険物（可燃性固体）のうち、引火性固体は「固形アルコール」「ゴムのり」「ラッカーパテ」が該当する。これらは常温で可燃性蒸気を発生し、引火性の危険を有する。引火性固体の燃焼は、主に分解燃焼となる。</p>	<p>【問11】 〔解説〕 2. 第2類危険物（可燃性固体）のうち、引火性固体は「固形アルコール」「ゴムのり」「ラッカーパテ」が該当する。これらは常温で可燃性蒸気を発生し、引火性の危険を有する。引火性固体の燃焼は、主に蒸発燃焼となる。</p>
259	<p>【問1】 〔解説〕 1. 沸点は35℃で、「極めて」低いというわけではない。</p>	<p>【問1】 〔解説〕 1. 沸点は35℃で、極めて低い。</p>
290	P235 【11】 2 【12】 1	P235 【11】 5 【12】 1